

折れ線グラフ

基礎

かいとう

例題 折れ線グラフの読み方

折れ線グラフは、時間とともに数が変わる様子を表します。

- ・線が上がっている→ふえている
- ・線が下がっている→へっている
- ・線のかたむきが急→変わり方が大きい



1 次の問題に答えましょう。

(1) 午前 10 時の気温は何度ですか。 **20 度**

(2) 気温がいちばん高いのは何時ですか。 **午後 2 時 (14 時)**

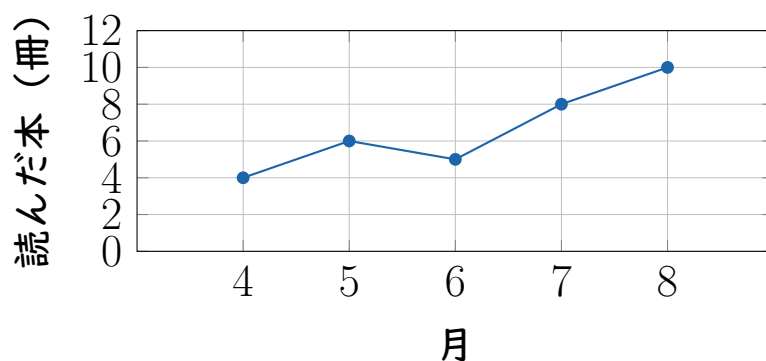
(3) 気温がふえているのは、何時から何時までですか。 **午前 6 時から午後 2 時まで**

ヒント：縦軸は気温、横軸は時です。点のいちをよく見ましょう。

折れ線グラフ

標準

かいとう



1 グラフを見て、問題に答えましょう。

(1) 5月に読んだ本は何冊ですか。 **6冊**

(2) 読んだ本がいちばん多い月は何月ですか。 **8月**

(3) 前の月より読んだ本がへった月は何月ですか。 **6月**

2 次の問題に答えましょう。

(1) 7月と8月では、どちらが読んだ本が多いですか。また、何冊多いですか。

8月が2冊多い

(2) 本を読む数がいちばん大きくふえたのは、何月から何月の間ですか。

7月から8月の間

ポイント：線のかたむきが急なほど、変わり方が大きいです。

折れ線グラフ

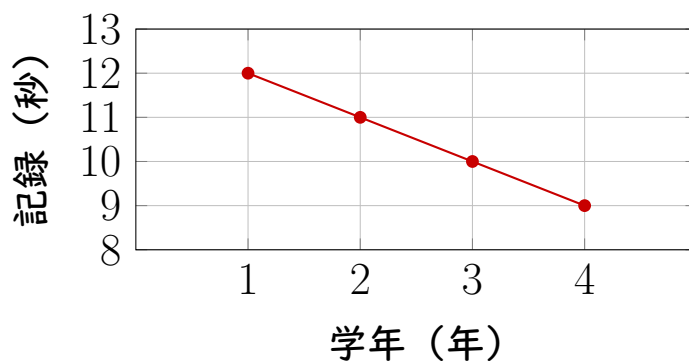
応用

かいとう

1 次の表を見て、折れ線グラフを完成させましょう。

たかしさんの 50m 走の記録

学年	1 年	2 年	3 年	4 年
記録 (秒)	12	11	10	9



2 グラフから読み取れることを答えましょう。

(1) たかしさんの記録は、学年が上がるとどうなっていますか。

速くなっている (記録がへっている)

(2) 記録がいちばん大きいのびた (速くなった) のは何年から何年ですか。

どの年も同じ (1 秒ずつのびている)

(3) このまま記録がのびると、5 年生では何秒くらいになりそうですか。

8 秒くらい

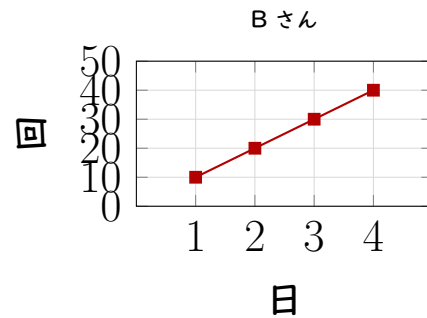
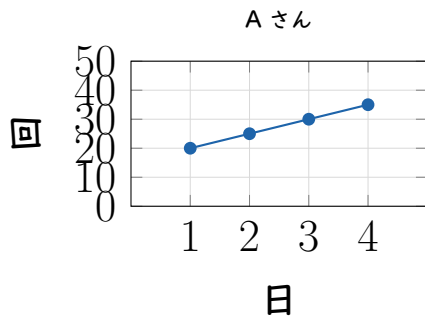
ポイント：表のデータを点でうち、直線でつなぎましょう。

折れ線グラフ

思考力

かいとう

1 次の2つのグラフを見て、問題に答えましょう。



(1) 4日目の記録が多いのは、AさんとBさんのどちらですか。

Bさん (40回)

(2) 1日にふえる回数が多いのは、AさんとBさんのどちらですか。
また、どうして分かりますか。

Bさん。グラフのかたむきがBさんの方が急だから。

(Aさん：1日5回ずつ、Bさん：1日10回ずつ)

2 折れ線グラフと棒グラフのちがいについて答えましょう。

(1) 時間とともに変わる様子を表すのにてきしているのは、どちらですか。

折れ線グラフ

(2) 次のうち、折れ線グラフで表すのにてきしているものを選びましょう。

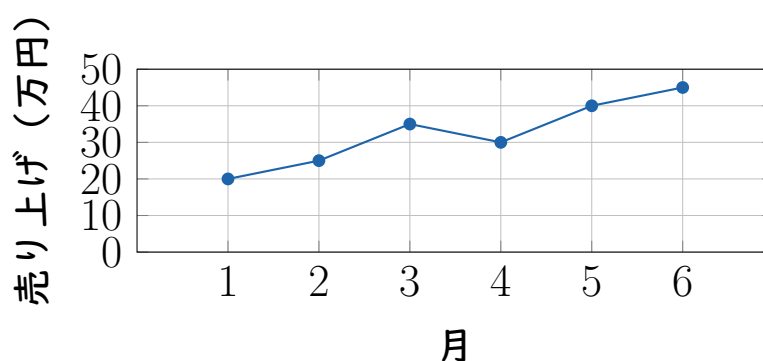
ア (1週間の気温の変化)

ポイント：グラフのかたむきを比べると、変わり方の大きさが分かります。

折れ線グラフ

まとめ

かいとう

**1** グラフを読み取りましょう。(各 10 点)

(1) 3月の売り上げは何万円ですか。 **35万円** (2) 売り上げがいちばん多い月は？ **6月**

(3) 前の月より売り上げがへったのは何月ですか。 **4月**

2 グラフの変化について答えましょう。(各 15 点)

(1) 売り上げがいちばん大きくふえたのは、何月から何月ですか。

2月から3月 (10万円ふえている)

(2) 6月の売り上げは、1月の売り上げの何倍ですか。

2.25倍 ($45 \div 20 = 2.25$)

3 次の問題に答えましょう。(各 15 点)

(1) 折れ線グラフは、何を表すのにてきしていますか。

(例) 時間とともに変わる様子を表すのにてきしている

(2) 線のかたむきが急だと、何がわかりますか。

(例) 変わり方が大きいことが分かる

【単元のポイント】

折れ線グラフ

4年生 算数 第2単元

学習指導要領（平成 29 年告示）の目標

【D データの活用】D(1) データの収集と分析

折れ線グラフの特徴とその用い方を理解すること。また、目的に応じてデータを収集し、データの特徴や傾向に着目し、表や折れ線グラフに的確に表したり、読み取ったりすること。

◆ 評価の3観点における目標

【知識・技能】

- 折れ線グラフの読み方を理解している
- 折れ線グラフのかき方を理解している
- 変化の様子を折れ線グラフに表すことができる

【思考・判断・表現】

- 折れ線グラフから変化の特徴を読み取ることができる
- 2つの折れ線グラフを比較して違いを説明できる
- グラフの傾きから変化の大きさを判断できる

【主体的に学習に取り組む態度】

- 身の回りのデータを折れ線グラフで表そうとしている
- 変化の様子に関心をもって観察している

◆ 指導上の留意点（学習指導要領解説より）

1. 折れ線グラフの特徴

- 時間の経過に伴う変化を表すのに適している
- 棒グラフとの違い：棒グラフは量の大小比較、折れ線グラフは変化の様子
- 線の傾きが急なほど変化が大きいことを理解させる

2. 折れ線グラフの読み方

- 横軸（時間など）と縦軸（数量）の意味を確認する
- 目盛りの読み取り方を理解させる
- 増加・減少・変化なしの読み取りができるようにする

3. 折れ線グラフのかき方

- 表のデータを点で打ち、直線で結ぶ
- 縦軸・横軸に単位と目盛りを正確に書く
- グラフのタイトルを書く習慣をつける

4. つまづきやすいポイント

- 目盛りの読み誤り（特に 1 目盛りの大きさ）
- 折れ線グラフと棒グラフの使い分け
- 波線（省略記号）の意味の理解不足
- 2 つのグラフを比べるときの縦軸の目盛りの違い

◆ プリント作成時の配慮事項

1. 方眼紙の活用：グラフを書くスペースは方眼を用意する
2. 身近な題材：気温、体温、記録の変化など身近な例を使う
3. 読み取りと作図：両方の問題をバランスよく配置
4. 比較問題：2 つのグラフを比較して特徴を述べる問題を含める
5. 目盛りの工夫：波線の使い方や目盛りの取り方を問う問題